

平成23年度事業計画

景気・雇用情勢の長期停滞、県の緊縮財政など取り巻く環境は依然として厳しいものの、九州新幹線の全線開通により九州内、西日本のビジネス・観光・文化を通じた人々の交流の増大が期待されるなど明るい兆しも見えている。

このような状況の中、平成23年度は、県から指定管理を受けたアクロス福岡の管理運営（H23～H27）の初年度であり、新たに策定した中期経営計画に基づき、活力ある事業運営と一層の利用者サービスに努め、県民文化の向上と地域社会の活性化に寄与していく。

組織・運営

公益財団法人への移行を念頭に、組織体制の強化に取り組むとともに、経営の合理化、効率化を推進していく。

1 公益財団法人への移行

「公益財団法人」を目指し、法律に則った役員等の選任手続きや定款の策定を進め、本年度に移行認定申請を行う。

2 組織体制の強化

公益財団法人への移行を踏まえて、理事会機能の強化や評議員会の設置、財団諸規程の整備などを行い、体制強化を図る。

また、情報グループと文化広報グループの統合（情報広報グループ）や業務の見直しにより、機動的かつ効率的な運営体制を構築する。

3 財政基盤の強化

各事業での収益力を強化しつつ、助成金等の獲得やコストの削減に努め、きめ細かな執行管理を行う。

4 人材育成の推進

人事評価制度の効果的運用や研修機会の充実に努め、職務能力の向上と士気の高揚を図る。

施設サービス事業

施設の特性を活かした幅広い利用の促進を図るとともに、だれでも快適に安全に利用できる環境の提供を目指し、利用者の立場に立って一層のサービスの向上に努める。

また、日常的な防災訓練の実施など、防災管理体制の更なる充実と施設の計画的な維持・保全に努める。

1 積極的な営業誘致

利用の促進を図るため、医学会・全国大会や国際会議等の比較的景気に左右されないイベントの誘致活動を強化する。

また、公共性を優先するものの経営を安定させるために収益性の高いものとバランスを取りながら営業活動を展開する。

- (1) 国際会議・大型会議の誘致に向け、県、市町村や関係団体との連携強化
- (2) リピーター客の獲得を目指した主催者への対面営業の実施

2 利用者サービスの充実強化

これまで、開館時間や受付窓口時間の延長、インターネットでの施設予約、全館案内の見直しなどに取り組み、顧客満足度を高めてきた。今後ともこれまでの実績を踏まえ、さらなるサービスの向上に努めて行く。

- (1) 施設予約窓口と利用内容等の打ち合わせが一体的にできるワンストップサービスの実現(5階管理事務室(舞台及び技術業務)を8階に移設)
- (2) ホスピタリティの向上を目指した関係機関との連携、業務研修の継続実施

3 施設機能の充実

県の文化芸術拠点に相応しい設備の充実を目指し、イベントの成功に向けて、照明、調光、映像等に最新の機器を導入し利便の向上を図る。

また、高齢者や障がいを持つ方々に快適で安全な空間を提供するためにバリアフリー対策等にビル管理会社と連携し取り組む。

併せて「安全の確保、トラブルの防止」を基本とした保守点検の順守、施設の維持・補修を図り、火災・地震以外の災害にも対応できるよう日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向けた取り組みを行う。

- (1) LED等の省エネ機器への転換促進
- (2) ビジネスセンターの設置(有料のPC、FAX、コピー機設置)
- (3) アクロス福岡共同防火・防災協議会主催の防災訓練への積極的参加
- (4) 計画的な維持・修繕

文化振興事業

音楽・舞台芸術を中心とした文化芸術の振興を図るため、これまで実施した事業の検証やアンケート等による顧客ニーズを踏まえながら、これまでの5つの理念のうち“創り出すアクロス”に代わり“新たな出会いのアクロス”を設け、それぞれの理念に基づくバランスのとれた事業展開を行う。

平成23年度は、春と秋の音楽祭として定着しつつある「福岡グランドクラシックス」および「福岡・音楽の秋フェスティバル」の拡充を図るとともに、「アフタヌーンコンサート」や「ちびっこコンサート」などの取り組みを継続して行う。

また、県内市町村・地元マスコミや企業・地域の文化団体のみならず、全国及び九州の類似ホールとの連携を強化し、積極的な事業を展開する。

1 5つの理念による事業展開

(1) 芸術性と楽しさのアクロス

シドニー交響楽団、パリ管弦楽団、エディタ・グルベローヴァソプラノリサイタルなど33事業を主催・共催・協賛する。

(2) 育てるアクロス

一万人コンサート ～ 、ランチタイムコンサート Vol.25～28、ちびっこコンサートのほか、世界的指揮者チョン・ミョンフンが指揮する九州・山口高等学校オーケストラフェスティバルなど22事業を主催・共催・協賛する。

(3) 地域とともに歩むアクロス

フロアコンサート、レインボーコンサート、ミュージアムコンサートなど26事業を主催・共催・協賛する。

(4) アジアのアクロス

アジアオーケストラフェスティバル 1事業を主催する。

(5) 新たな出会いのアクロス

クラシックフェスタ 1事業を主催する。

2 「福岡グランドクラシックス2011」の開催

春の音楽祭として4月22日から5月29日まで室内楽4公演を『九州新幹線全線開通記念事業』と銘打って実施する。

(1) オーギュスタン・デュメイ ヴァイオリンリサイタル

(2) アンネ=ゾフィー・ムター ヴァイオリンリサイタル

(3) ウィーン・クラシックス

(4) ストラディヴァリウス サミット・コンサート

3 「福岡・音楽の秋フェスティバル」の開催

秋の音楽祭として10月1日から11月22日まで、管弦楽、室内楽やリサイタル公演など多彩なプログラムを展開する。

(1) アクロス・クラシックフェスタ

アクロス館内の三つのホールを活用して、一日中家族連れで楽しめるように、無料のミニ・コンサートや音楽に関するイベント等を開催する。また楽器の展示や試奏コーナーを設置し、音楽を身近に感じる空間づくりを目指す。さらに、好評の自由演奏会を開催し福岡シンフォニーホールのステージを多くのアマチュアに開放する。

(2) 海外の一流演奏家による演奏会

ウラディーミル・アシュケナージ指揮 シドニー交響楽団演奏会、パーヴォ・ヤルヴィ指揮 パリ管弦楽団やベルリン・バロック・ゾリステンなどを開催する。

4 類似ホールとの連携

国内の類似ホールと連携し、良質の事業の企画、運営を実施する。

(1) バーデン市劇場（群馬、和光、川口、日田との連携事業）

(2) ダネル弦楽四重奏団（札幌との連携事業）

5 地域サポート体制の強化

公演事業に対する地域企業・団体の協賛、ボランティア団体との事業連携など地域サポート体制の一層の強化に努める。

6 地域・伝統文化等の振興

企画展等の実施や助成事業を通して、地域・伝統文化の振興を図る。

(1) 地域・伝統文化の活性化

女性伝統工芸士展の実施

カルタ展の実施

(2) 九州大学と連携した夏休み子ども向けの事業の実施

夏休みの期間における、親子で参加できる体験型事業の開催

(3) 共催・協賛事業の開催

地域文化交流イベント助成事業の実施

7 友の会事業の充実

財団事業の積極的参加者である会員の増員を図るため、アンケートなど会員の意見を踏まえ、友の会事業の一層の充実を目指す。

(1) 友の会会員を対象としたコンサートの実施

(2) 音楽専門家によるクラシックセミナーに加え、オペラ講座を新設

(3) 友の会会員の交流を目的とした参加型事業の実施

8 販売活動の強化

文化振興事業により多くの人々が利用してもらうため、公演情報提供や窓口サービスの向上を図る。また、安定した事業収入を図るため営業促進を強化する。

(1) インターネット販売の充実

インターネット予約購入をパソコンだけでなく、新たに携帯電話からも利用可能にし、購入者へのサービス向上と販売促進を図る。

(2) 演奏会における二部入場者割引制度導入の検討

開演時に間に合わないお客様などのために、指定する主催公演で当日券がある場合の第二部を割引価格（半額）で提供することを検討する。

(3) 企業等福利厚生団体の新規販売先を開拓し、増収を図る。

情報提供事業

九州新幹線の開通に伴い、情報提供エリアの拡充を図る等情報発信事業を強化する。また、インターネットを活用した双方向の文化観光情報の充実を図るとともにアジア地域からの訪日旅行者に向けた情報提供など関係機関との連携により、さらなる情報の発信強化に努める。

また、地域の伝統文化、文化芸術の振興・普及を図るため、文化誌の発刊や文化講座を開催するとともに、文化活動を支援する場を提供する。

1 多彩な情報受発信機能の充実強化

文化観光情報ひろばにおいて、九州山口並びにアジア地域のパンフレット等を拡充提供するほか、インターネットや文化情報ラウンジを活用して文化、観光情報を県内外へより広く発信する。

(1) 文化観光情報ひろばにおける情報提供の強化

新たに山口県の観光に関するパンフレット等を収集のうえ提供
九州山口の祭りや風物詩情報を月毎にとりまとめ、コミュニケーションエリアでの掲示や大型画面で提供
韓国観光公社等と連携し、韓国の観光情報を提供
ホームページにおける検索サイト「福岡おでかけナビ」の情報提供登録者の拡充を図り双方向の情報を展開
文化、観光 MAP シリーズ第 6 弾として「福岡の国宝」の作成

(2) 国際化が進展する中での情報発信

英語・中国語・韓国語によるホームページの検索システムを見直し、文化観光情報の発信を強化

ビジットジャパン（外国人向け観光案内所）との相互の連携を図るため連絡会議を開催
福岡地域の日帰りお勧め観光コースを季刊誌（英・中・韓）で紹介（大牟田・久留米・福津・添田）
日本語版「建物MAP」を外国人向けに編集し、多言語版（英・中・韓）で作成

2 文化芸術の紹介と活動支援

地域・伝統文化の紹介や文化活動者への支援を強化するとともに、伝統工芸諸団体などとの連携により次世代への文化の継承を図る。

（1）地域・伝統文化の紹介と活動支援

匠ギャラリーにおける7産地の常設展示の定期的入替

匠ギャラリー企画展の開催

ホワイエ作品展の開催やコミュニケーションエリアを活用した作品展示等の場を提供

九州各地の文化施設や市町村との連携支援とした事前レクチャー講座「アクロス・文化学び塾」の開催（年12講座）

（2）福岡県地域文化誌の発刊

福岡の地域文化をテーマにしたアクロス福岡文化誌シリーズ第6弾の発刊

文化誌第5巻「福岡の町並み」発刊記念講演会と文化誌をテーマにした現地講座を4地域で開催

広報・広聴事業

財団全体の事業を効果的・効率的に広報・PRするために情報を一元的に集約・管理し、ホームページや情報誌等を活用して広報・広聴機能の充実を図る。

1 戦略的広報の実施

情報誌「アクロス」やホームページ、メルマガ、DM配信等を活用し、広報媒体の効果的な運用と情報提供に努める。また、英・中・韓3ヶ国語に多言語化したホームページを運用し広く情報発信に努める。

2 マスコミへの情報提供

定例記者発表を引き続き実施するとともに、県政記者クラブへの投込み等効果的なプレスリリースの作成・配布を行い、パブリシティの拡大を図る。

3 広聴機能の充実

公演や企画展、講座ごとのアンケートや窓口、ホームページを通じて寄せられる意見や要望を財団内で情報共有し、寄せられた意見に基づき事業の改善に努めるなど、広聴機能の充実に努める。